

【作文小学生高学年の部】

- 特選** 米谷小学校 6年 及川 遥「水と私たち」
- 入選 新田小学校 5年 三浦 優梨「おいしい水ができるまで」
- 入選 新田小学校 4年 守屋 朱莉「水を大切に」
- 入選 石越小学校 5年 南浦 燈恵「水」

水と私たち

米谷小学校 六年 及川 遙

「水」という大切な物が、この世からなくなつたらどうなるのか、考えたことがあるだろうか。私は今まで、水について深く考えたことがなかった。しかし、学年が上がるにつれて、いろいろな教科を学習したことで、「水」は私たちにとつて、なくてはならないものだということが分かってきた。

その理由の一つ目は、「水」は、私たちが生きていくためになくてはならない物であるということだ。体の七十％は水分だと聞いたことがある。だから、災害にそなえて一週間分の水だけは必ず用意しておくように先生が話していた。水は、私たちの命のもとになっていること加分かった。

理由の二つ目は、生活面や健康面で必要とすることだ。ご飯をたくのも水。おつゆを作るのも水。お風呂に入るのも水が必要だ。手を洗つたり、顔を洗つたり、掃除に使つたり

と、よく考えりと生活の中で、いつも水を使
っている。もうすぐ始まるプールの学習でも
たくさんの水を使用する。また、エアコンに
も水が使われたり、いろいろな工場でも、水
を使って製品を作り出したりしている。

そして、三つ目の理由は、自然や食料の面
からだ。私たちの食料となる米や野菜、魚は
水がないと存在しない。三年生のときはバ
ケツ稲。五年生では、水田を借りて米を作る
学習をしてきた。暑くなると、バケツ
の水が一日で枯らなくなってしまう。米
を作るためには、かなりの量の水を使い、管
理が大切であることを学んだ活動だった。

また、田んぼに流れる水の元となっている
のが、川の水。この川の水が絶えずなくなら
ないのは、森林のおかげであるという学習を
した。その森林がかかすにいつも生き生きと
しているのも、天からの恩恵、雨である。畑
の作物も、花だんの花も、植物全部が雨を待
っている。雨の日は登校するのも大変だし、

外で遊ばないし、雨はあまり好きではなかった。しかし、自然のこと、命のことを考えること、ありがたく思えてきた。

そんな大切な「水」のことをどれだけの人がどれだけ真剣に考えているだろうか。昔の人は、苦勞して土をほり、井戸から水をくんでいた。また、遠いききりでも川から水をくみに行っていた。しかし現代は、いっ口を少しひねるだけで、かん單に水が出てくる。かんとんすぎで、あたりまえすぎて、水に対する

感謝の気持ちは、あまり生まれてこないかもしれない。水がどれだけ必要なのか、水がどれだけ私たちの生活に役に立っているのか、どれだけの人が理解しているだろうか。私も理解しているようで、なかなかできていない。水を出せばなしたするなど、水を大事にしないことも多い。

「水」は、私たちが生きるために与えてくれた、神様からのおくり物なのかもしれない。これから先の子孫のためにも、「水」に感謝

い。
し、水の大切さを伝え、ずっと守っていていきた

おいしい水がでるまで

新田小学校 五年 三浦 優梨

わたしは、四年生のとき、社会のべんきよ
うで水道きよくに行きました。

水道きよくの中を見学したら、わたしのし
ん長よりも大きいコンピューターがありまし
た。コンピューターには、登米市の金づの水
道かんがうつっていました。すごくたくさん
あつて、びりりました。いつも千エツク
するのはたいへんだと思いました。

水がきれいになるじっけんもしました。す
ごくきたない水に、くすりを入れます。しば
らく待つと、きたないごみが下にしずみます。
上の方の水は、のめそうなくらいきれいでき
た。けれど、いろいろなけんさをしたり、も
っとくすりを入れてきれいにしたりしない
のめないそうです。

いつも、とてもきれいな水にするのは、の
あ人がみんな元気でいるために、とても大せ
つです。よく考えたら、赤ちやんとかおじい

さんおばあさんが、少しきたない水をのんで
いたら、具合がわるくなつてしまふかもしれ
ません。わたしの妹は、まだ小さいので、
米市の水がきれいだと知つて、安心しました。
じっけんの後に、水道きよくではたらく人た
ちに、
「こんなにチエツクしたら大へんじやないで
すか。」
と、インタビュしたら、
「大へんだけど、みんなのためにがんばりま
す。」
と言つていました。おしごとをがんばつてく
れる人がいるから、毎日おいしい水がのめる
のだとばいめて考えました。
水を作つているところも見学しました。す
ると、「ごみかういでいる水がえきいプロミ
たいなばしょに入つていました。川の水が
みどりっぽくてきたなかつたです。これは、
せつたいのめなないと思ひました。
けれど、だんだん、きれいな水になつてき

ました。じっけんで見たように、くすりを人
水たり、きたないゴミをすずめたりしている
そうです。さいごに、できたての水をのんだ
ら、とつてもつめたくて、おいしかったです。
いっしょに水をのんだ友達も、
「すごいおいしい。」
と、にこにこしていました。おいしい水をの
むと、みんな、にこにこのえがおになります。
学校の水をのむときも、にこにこたまりま
す。
体いくの後に、水道から出るのめた氷水をの
むと、とくにスツキリします。
わたしは、たんさんのジュースが好きです。
あまいジュースも好きです。けれど、たんさ
んのジュースやあまいジュースはのみすぎると、
と、体にわるいと聞きました。それに、ジュ
ースは、合う食べ物と合わない食べ物がある
場合があります。水は、体にいいし、合わない食べ
ものはありません。あじがしないのに、おい
しいのがふしぎです。あじがしなくてもおい
しいのは、やっぱりきれいな水だからなのだ

ろうと思ひます。ニ水からも、登米市のきれいな水で、みんなの元気をまもつていってほしいです。

水を大切に

登米市立新田小学校

四年

守屋

朱莉

「えっ、ビールよりも水のほうが高いの。」

信じられない。

夜、家族とテレビを見ていて、びっくりして
大きい声を出しました。

「外国では、水は高くてもちよーうなんだよ。」

とお母さんとおばあちゃんが一緒に同じこと
を言いました。それから水の話が始まりました。
た。外国に行ったら水道の水は飲まないで、

売っているミネラルウォーターを飲むこと。

立はなホテルでも、ジャワの水が弱い所も

あったりするところ。アフリカなどは、水道が

ない所もあって川の水が水道の水がわりだ使

っていることなどを聞きました。

話を聞きながら私が、どんなふうに水道を

使っているか考えました。

朝、歯みがきや顔をあらう時水道を出しま

す。きれいでとめいな水がいきおいよく出

ます。顔をあらうとすっきり目がさめます。

トイレに行ったら水道の水で手をあらいます。家でも学校でも、のどがかわいたら水道の水を飲みます。外から帰ったら水道の水でうがい手あらいをします。夜はドレグチを回してお湯をお風呂に入れます。シャワーをしてシャワーからお湯を出してあわを落します。シャワーからお湯が出てきもちいいです。

あとなにに水道を使っているか考えて見たら料理する時野菜をあらったり、おつゆに使ったりします。食べ終わった物や皿やなべなど

とをあらったりします。せんとくに水道の水を使います。

花や野菜にも水道の水を使います。牛も水道の水を飲んでいきます。車をあらうのも水道の水を使っています。

いろいろなものにジャロを回せばきれいな水がいきおいよく出てくる水道はべんりて大事なものだと思えます。

でも、べんりだからといってもむだづかいはしないほうがいいと思えました。

どうしてかという外国の水道のない国を
テレビで見たら、手や体がよごれてもあらわ
ないで食べ物食べていたり、きたない水を
飲んで病気になったり、ケガをしてもきれい
な水であらうこともできないレバンソウも
ないのでバイキンが入って病気になって、死
んでしまう人がいるそうです。とても、かわ
いそうだと思います。悲しくなりました。

私の家の水道の水を分けてあげたいと思
いました。

でも、分けてあげたいけど、とどけられな
くて残念です。

そのかわり、私たちが水道の水を大切にむ
だづかいしないようにしたいと思います。

だから気をつけたいことは、せんめん台の
水を使ったらきちんと止めることでお風呂の
お湯がたまったブザーが鳴ったらすぐ止め
に行くこと、シャンプーをしている時はシャ
ーを出しっぱなしにしないことなどを気をフ
けたいと思います。

そして、世界中の国にきれいな水が出る水道が出てほしいと思います。
いつでも、どこでも、安全でおいしい水が水道から出る日本に生まれて、私は本当に幸せです。

水

石越小学校 五年 南浦 燈恵

水ミヅ という飲み物は、ピャ口をひねれば、出てくる、身近なものです。私はそう思っています。

あ、わすれてました。水とは言っても、

いろんな、水がありますよ。例えば、

ないですけど、どろろ水とか、雨水とか、海水

とか、ほんとは、たくさんの水、全て水です。

今、話すのは、水道水のことです

水道水は、人が飲む、あるいは、植物にや

るなどが日常的ですね。人が飲む場合、水を

加えて、ジュース、お茶などにして飲むこ

とが多いようです。それは、よりおいしく

飲み物を飲む、くふうとも言えますね。植物

にやる場合、水は、そのままやりますよ。

家で、そんなに水道水を水やりには利用し

ませんがね。

それでは、変な質問ですが、水やお茶、

登米市立石越小学校

ジュースなどの飲み物を、何回飲んだことが
 ありますか。
 そう聞かれても、すぐに答えられない、お
 しろ、答えられない人の方が多いでしょ。
 私も、答えられません。数えきれないほど飲
 んでいます。つまり、水などの飲み物は、人
 が生きていくために、欠かせないものなんで
 すね。
 もしも、水がなかったら、みんな、このど
 がかわいたくると、水というものをさがして、
 それをさがしているうちに死んでしまう。そ
 れに、体もあらえず、きたない生活です。そ
 れが夏であれば、水が飲めずに死ぬ人が、も
 とふえてしまう。ぞつとしますよね。これ
 は、先に述べたことを言い変えると、水で、
 命が救われるということになるのです。
 四年生の勉強で、田に水がよく行きわたら
 ず、そのせいで、戦争になつたりするこ
 とが
 あつたそうです。命をかけてでも、水がほし
 かつたんです。

私は、水道が水が出ないというところ、
 経験したことがありません。東日本大震災で、
 少しの間、水が出なくなりました。それには、
 とてもびっくりしました。何回じゃ口をひね
 ても、変あらかなか、たので、不思議な気持ち
 でした。いつも、じや口をひねれば水が出る
 のがあたりまえだからです。そう思っていれ
 ば、だれでもびっくりするし、不思議に思
 でしょう。私は、幼なころに、そんなこと
 がおこったので、大人よりおどろいたかもし
 れません。

それを思い出したとき、こんな記おくが、
 残っているなんて、と思いましたが、でも、
 やっぱり、わすれない方が、いいと思います。

(それに、そんな経験をしたことで、水道が
 水が出ることを、出ないときの差も分かり
 ましたね)

水は命だと思えます。つまり、水は命とつ
 ながっているという事です。水がなければ、
 人や植物は生きていけません。やはり、

水は、みんなの宝物であり、命と同じくらい大切なものでもあります。そんな大切なものを、大切に、使っていませんか。